

力あわせて政治の転換を

国民生活 切り捨てにNO! 政治に変化を

日本の賃金水準は、年々低下しています。厚生労働省の調査では、月額賃金(ボーナス含む)は、1995年の36万2510円から2005年の33万4910円へと、10年間で7.6%も下がりました。

大企業が史上最高利益を更新し続けるなか、増税と国民負担は重くなり、国民生活は苦しくなる一方で、年収150万円以下・生活保護基準以下の労働者(ワーキングプア)は、400万世帯にひろがり、深刻な社会問題になっています。

昨年7月の参議院選挙では、政権与党(自民・公明)は大敗北し、政治に劇的な変化をもたらしました。国民は、「国民生活切り捨て」「貧困と格差の拡大」「軍備の増強」の政治にNO!の審判を下し、政治変革を求めています。

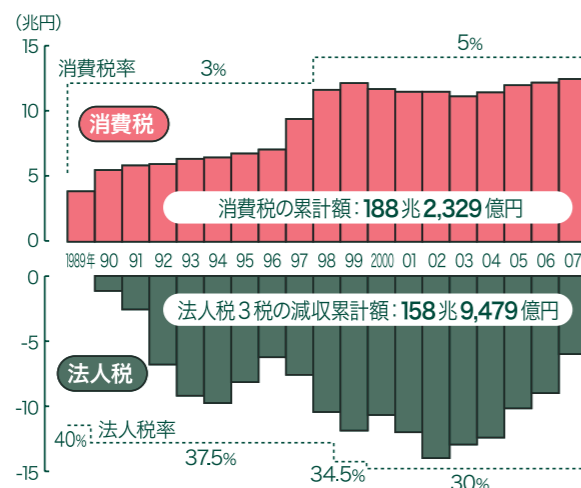
戦争NO! 平和守れ! の運動を

小泉、安倍と続いた自公政権が進めた「構造改革」路線は、手直しが迫られ修正を余儀なくされています。

しかし、政府・与党は政策を転換したわけではありません。与党は、「憲法を改正」し「戦争する国」への道をあきらめてはいません。

憲法を守る世論を高めるため、1人100筆を集める「ピースチャレンジャー」運動などに積極的にとりくみ、国民過半数の署名をめざします。

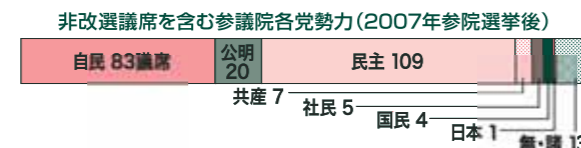
消費税はほとんどが法人税減収の穴埋めに



【注】 税収の2005年度までは決算額。06年度は、国は補正予算、地方は当初見込み。07年度は当初予算額。法人3税の減収額は、ピークだった89年度を基準として各年度の減収分。法人3税とは法人税、法人事業税、法人住民税。消費税は国と地方分。

2007年7月 参議院選挙結果

	自民党	公明党	民主党	共産党	社民党	国民新党	新党日本	無・諸
議席数	37	9	60	3	2	2	1	7
比例区得票率 (%)	28.08	13.18	39.47	7.48	4.47	2.15	3.00	2.12



【注】 参議院の定数は242議席。自公両党の議席を合わせた103議席は、過半数を大きく割り込んでいるが、一方の民主党も過半数を占めるまでの議席はない。新党日本や国民新党を加えても114議席にとどまる。参議院で過半数を形成するには、改選に反対する共産党、社民党の協力が不可欠な状況になっている。

憲法9条は世界の平和への希望



組合員をふやし要求前進を

組合員の拡大は 要求実現の力

労働組合の目的は、労働者の切実な要求の実現にあり、その最大の保障は組合員です。

3月から5月を「組織拡大・共済推進月間」に設定し、集中した組合員拡大に

とりくみます。具体的には、

- ①組合員の1割増、
- ②全組合が過半数を組織化、
- ③パートの加入促進、
- ④ヘルパーの加入促進、
- ⑤全新人職員の組合加入、

そのため、すべての組合が、組合員拡大の課題と拡大目標を設定し、推進体制を確立して、'08年春闘で集中してとりくむことがポイントとなります。

拡大目標もって 積極的な とりくみを

①組合員拡大目標を設定します。

②執行委員会や拡大推進委員会で、とりくみの具体化と点検をくりかえし追及します。

③新人歓迎会、レクレーション、青年・女性・パート職員などの各種の行事を計画し、参加をよびかけます。

④「組合へのお誘い」集中週間など設け、組合員みんなで集中した拡大にとりくみます。

⑤組合員が退職するときも、医労連共済など活用して加入継続をすすめ、再就職したところの組織化につなげます。

⑥医労連に加盟していない組合も訪問し、大増員闘争などへの参加をよびかけ、医労連加盟をよびかけます。

⑦未組織の仲間の相談活動に積極的にとりくみ、未組織の組織化をすすめます。

組合だからこそその助け合い

セット共済

- 満79歳まで、家族とともに加入を継続できます。
- 安い掛金で最高2,000万円までの大きな保障です。
- 掛金は年齢に関係なく一律です。

医療保障の充実を考えている方へ

月掛金 **2,400円** (例: セット共済7型+医療共済16口上積)

- 病気・ケガ
- 入院 (1日~180日)・・・1日につき **10,000円**
 - 休業 (1日~90日)・・・1日につき **5,000円**
 - 死亡…………… **100万円**

ライフスタイルに合わせたプランが組めます。
ご家族(配偶者、子、親)とともにご加入いただけます。
病気・ケガ休業は連続5日以上のごとき1日目から保障。

火災共済

建物 月 **2,000円** で最高 **4,000万円** 保障
(耐火構造 月1,000円)

家財 月 **1,000円** で最高 **2,000万円** 保障
(耐火構造 月 500円)



★風水害、落雷などの被害も保障。

自動車共済

- 24時間事故受付
- 組合員の立場での示談交渉
- 無事故割引が継続できる
- 団体割引で、お得な掛金



共済加入でくらしをバックアップ

医労連共済は くらし守る 「助け合い」

日本医労連共済会は、1990年1月に働く仲間の相互扶助(助け合い)制度として発足しました。

現在、日本医労連組合員の生活とくらしを守る「助け合い」運動として発展し、4万5千人の組合員・家族が加入しています。

共済は、一般の保険と違って営利を目的としておらず、組合員の利益を第一に考えた保障の内容となっています。さらに、労働組合運動の強化にも大きな役割を果たしています。

すべての組合で、共済運動にとりくみましょう。あなたも、医労連共済に加入して、助け合いの運動に参加しましょう。



ご相談・お問い合わせはお気軽に労働組合の共済担当者まで

みんなでつくる大きな安心

医労連共済会

いろいろんきょうさい

0120-160931

〒110-0013 東京都台東区入谷1-2-3 K・Kビル4F
TEL: 03-3876-8297 FAX: 03-3876-8263
【ホームページアドレス】 <http://www.iro-kyosai.jp/>

制度の詳細い内容はリーフレットをご覧ください。